

【建設マップ】

どこに、どんな建物ができるかを Google マップに表示、
未来の地図を提供する革新的なサービス

『建設マップ』は、どこに、どんな建物ができるかという建築工事情報を、地図（Google マップ）上で確認できるプロフェッショナル向けの有料サービスです。有料サービス『建設データベース』の上位版で、『建設データベース』の全機能に加えて、延べ 2,000 平方メートル以上の案件を主体に、地図上で建設地を表示可能なほか、取材時に撮影した現場風景や工事看板の写真を確認できます。

【特徴 1】 大型案件を主体に建設地を地図上で表示、どこに何が建つかを可視化
延べ 2,000 平方メートル以上の案件を主体に、地図上で建築工事の場所を表示できます。従来は地番から建設地を特定するのに手間がかかりましたが、その時間とコストを削減、案件ごとに地図上で確認できるほか、検索で絞り込んだ複数の案件をまとめて地図上に表示することも可能です。当面は延べ 2,000 平方メートル以上の案件を主体に地図表示機能に対応しますが、将来的には全案件を地図で表示できるように対象の拡大を進めます。

【特徴 2】 スタッフが現場を巡回、現場風景や工事看板を撮影
大型案件を主体にスタッフが現場を巡回し、建設地と地図上の表示がずれていないかを確認するとともに、現場風景や工事看板を撮影、案件ごとに現場の写真を表示します。建築工事ごとの詳細ページだけでなく、地図上でも写真を見ることができます。こちらも巡回スタッフを増やし、取材対象の案件拡大に努めます。

【特徴 3】 上位版ゆえに『建設データベース』の全機能を利用可能
有料サービス『建設データベース』の上位版として位置付けており、関西の建築工事情報をデータベース化した『建設データベース』の全機能を使えます。建物用途や規模、建設地、建築主などで検索が簡単で、検索結果の CSV 出力にももちろん対応しています。